

優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

ふれあいネットワーク

まほろば 社協広報

第28号

寄稿 施設紹介 やまのこ共同保育園

— p 3 ~ p 4 掲載 —



みのりの秋を迎えて、本年も「むかごちゃんプロジェクト」始動!!

地域貢献活動グループ／ぽぽねっと企画では、昨年に引き続いて「むかご」の採取、販売、売上金による福祉活動支援という一連の活動からなる、「むかごちゃんプロジェクト」の始動に向け、只今準備をすすめています。今年も皆様のご協力をお願いします。

(関連記事／本誌 p 6 掲載)

写真 昨年10月、村内の長芋農園にて撮影

敬老の日

—— 村内各所でお祝い行事 ——

▶ 山形村敬老会の開催

山形村では9月9日、10日の両日を「敬老の日」として、午前11時から午後2時わたってお祝いの行事が催されました。今年は、従来のトレセン体育館から開催会場を保健福祉センターいちいの里の教養娯楽室に移し、招待者を村の南部と北部にわけて、2日間にわたって企画・実施されました。

初日は上大池、中大池、小坂、下大池の4地区、翌日は上竹田、下竹田の2地区から、合せて220余名のご高齢の皆さんが招かれて、斉藤村長はじめ村内外の関係者から、今まで地域社会に貢献いただいたことへの感謝と、お祝いの言葉がそれぞれ贈られました。

また、本年度の100歳到達者に対しては県と村から、88歳以上の方および85歳・80歳到達者に対しては村から、それぞれ祝品の贈呈の披露があり、当日の席では村長からその代表の方々に対し、祝品が贈られました。



▲本年は祝品として、「高級お茶セット」が贈られました



▲元気いっぱい、好例の山形保育園児によるお祝いセレモニー

好例の保育園児によりますお祝いセレモニーでは、2日間にわたって山形保育園の園児が訪れ、手話を交えた「大きな古時計」などの歌が大きな声で披露されました。会場に招かれたお年寄りの皆さんへ、園児の「小さなステージ」から「大きな元気」のプレゼントが贈られました。

そのあとお祝いの宴席に移り、美味しいお赤飯などの料理と久しぶりに会った仲間たちに囲まれて、楽しい会話や地元の音羽綾扇さんの日本舞踊の鑑賞と、初秋を迎えた里輪の中にあって、ゆっくりと宴(うたげ)のひとときを過ごすことができました。



▲上大池・中大池・小坂・下大池の南部地区の招待者の皆さん(9日)



▲上竹田・下竹田の北部地区の招待者の皆さん(10日)

▶ピアやまがた敬老祭の開催

また、山形村内の特別養護老人ホーム／ピアやまがたでは、本年は9月12日を利用者の皆さんの「敬老の日」とし、午前10時から午後3時半頃まで、まる一日敬老祭が催されました。また、この敬老祭には、利用者をはじめ村内外の利用者家族、地域関係者、一般ボランティア・学生等に至るまで、大勢の皆さんも施設を訪れ、大変盛況に行われました。

この日、午前10時30分から、デイルームで記念式典が開催され、利用者の皆さんをはじめ、施設を訪れた関係者等が一堂に会し、村の敬老会同様にお祝いのセレモニーが行われ、103名の利用者全員の健康と長寿をお祝いしました。

施設の中庭等には模擬店が置かれ、また午後2時からはアトラクションが盛況に行われました。利用者の唄、海遊人のバンド演奏、黒澤みゆきさんの歌謡ショー、職員の演芸と大変盛りだくさんの催しが生まれ、利用者をはじめ家族・職員・一般参加者全員で、楽しい一日を過ごすことができました。



▲記念式典では小野所長から施設の近況が伝えられました



▲思わず聴き入ってしまう懐かし演歌
黒澤みゆきさんの歌謡ショー



▲抱腹絶倒!! 4月に結成されたという
ピア職員の「長芋ダンサーズ」

希望の旅の開催 —— 平成16年度 第1回 ——

8月8日、山形村社会福祉協議会では、地域生活ふれあい交流事業の一環として、希望の旅事業（平成16年度第1回）を開催しました。生活課題の制約などから普段あまり外出の機会を得られない皆さんや、またその家族等の参加を得て、第1回目の企画は20名程のミニツアー。行き先は、河口湖方面で、猿まわし劇場・遊覧船への乗船・リニヤモーターカー見学等、快適なバスハイキングとなりました。

平成16年度第2回の希望の旅は、只今、能登半島方面で企画し、参加者募集中。



▲猿まわし劇場で、ほっと一息。記念のスナップ撮影。

寄稿 施設紹介③

こんにちは!! やまのこ共同保育園です

平成13年10月に民家をお借りして、松本市里山辺にある山の子共同保育園の姉妹園として開園し、今年（平成16年）3月、山形村役場や多くの人々の支援を頂き、念願の新園舎が完成しました。

「やまのこ」は、働くお父さんやお母さん達の子育てを応援します。家庭で母と子だけで過ごしている親子にも遊ぶ場の提供をします。お母さん達の交流も兼ねて、どんぐり広場を週1回設けています。また、体験保育、一時保育などの子育て支援に積極的に取り組んできています。

当園では、子どもを育てていく中で次のことを大切にしています。

- 心と体と脳の全てを育むリズム運動
- 泥・水・戸外で思いっきり遊びきる
- 無・低農薬など安全でおいしい手作りの給食とおやつ
- 四季おりおりの自然を全身で感じる山歩きや散歩
- 生活リズムを大切にする（早寝早起き）
- 親・子ども・職員が共に育ちあう



▲元気いっぱい「やまのこ」の仲間たちです

開園時間は、朝7時15分から夜7時までです。現在、0才児1名、1才児2名、2才児7名、3才児1名、4才児4名、5才児4名の合計19名の子ども達が通園しています。職員は、保育士4名、栄養士1名、夕方の長時間保育の時には、松本短期大学の学生さんが応援してくれています。



▲散歩では、いつも「発見!？」があります

保育園での生活を紹介しますと——
登園した順番に、体づくりの一環として、一人ずつ職員が子どものマッサージと体操を行い、自由遊びとなります。年長・年中さんは廊下や部屋の雑巾がけをしてから庭に遊びに行きます。

散歩はなるべく毎日行うようにしています。その日によってちがいますが、リズム運動やうずまきジャンケン等、ひと遊びしてから出かけたり、遠出の散歩の時は9時過ぎに出かけたりします。

また、暑い夏の時期は、日中はプール遊びをし涼しい夕方に散歩に行くことも多いです。

お昼ご飯は、年齢によって時間が少しずつちがいます。

0～1才児は11時頃、2～3才児は11半頃、4～5才児は当番活動をした後の11時45分頃、それぞれ食事となります。

早く食べ終わった子ども達から、シャワーやひと遊びをし、年齢にわかれてお話を読んでもらってからお昼寝となります。

お昼寝から起きると、おやつまでひと遊び。おやつを食べてまたひと遊び・・・と、ふんだんに遊んで子ども達の一日が終わります。



▲これは「お昼ごはん」と「おやつ」の中間メニュー!?

いろいろな方々の支援をいただいて完成した園舎です。園児の保育はもちろんですが、地域での子育て支援を大切な仕事として考えていますので、緊急に子どもを預ける場所が必要になった時、育児に疲れて話し相手が欲しくなった時等々、気軽に連絡して「やまのこ」を活用してください。



やまのこ共同保育園 園長 峯 幸子 (たかし さちこ)

山形村 7 1 2 8 - 1 ☎0263-98-5522

写真取材／長野大学 4年 奥原 香澄

日本福祉大学 3年 大久保 美紀

公開講座のお知らせ

*むらの福祉問題・生活課題について、みんなで学習してみませんか。

講座名 創ろう! やまがた **プロジェクト Y**

テーマ おらが村の資源(たから)探し

日程 第1回/12月3日(金) トレセンふるさと大ホール/13:30~15:30

オリエンテーション/ミニワークショップ (井戸端会議)

第2回/平成17年3月頃 (予定)

タウンウォッチング/春のふるさとをいっしょに歩こう

第3回/平成17年4月頃 (予定)

ワークショップ/こうなったらいいなあ 山形村



参加申込み・問い合わせ 下記の事務局までお気軽にお申込み下さい。

プロジェクトY事務局 ■山形村(保健福祉課) /いちいの里窓口 ☎97-2100

■山形村教育委員会/トレセン窓口 ☎98-3155 ■山形村社会福祉協議会/いちいの里窓口 ☎97-2102

企画協力機関 ■松本大学エクステンション・センター

福祉資金貸付事業のご案内

生活福祉資金・助け合い資金等の貸付事業を実施しています

長野県社会福祉協議会並びに山形村社会福祉協議会では、所得の少ない世帯や、障害を持つ方や高齢者が同居する世帯に対し、低利子(一部無利子)でお金をお貸しすることによって、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進等を図るため、生活福祉資金・助け合い資金等の貸付事業を実施しています。

希望される方は、各地区の民生・児童委員または山形村社会福祉協議会事務局までお問い合わせ下さい。随時ご相談に応じます。

申請受付/問い合わせ 山形村社会福祉協議会事務局 (山形村保健福祉センターいちいの里内)
 ※申請用紙は上記の事務局にあります。 ☎ 0263-97-2102

生活福祉資金について

◆趣旨 これは、国と県が資金を出し合って、県・市町村社会福祉協議会が民生・児童委員と連携を図り、地域住民の生活援助等のために行う貸付金制度です。

◆実施主体 社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

◆対象となる世帯 (詳細はお問い合わせ下さい。)

- ・他から融資を受けることが困難な収入の少ない世帯 (低所得世帯)
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方がいる世帯 (身体障害者世帯・知的障害者世帯・精神障害者世帯)
- ・日常生活を営むうえで介助が必要な高齢者の世帯 (高齢者世帯)
- ・失業により生計の維持が困難となった世帯

◆資金の内容

更生資金	生業を営むのに必要な経費、技能を習得するのに必要な経費等
福祉資金	冠婚葬祭費、転宅費、福祉用具・自動車購入費(身体障害者世帯)等
住宅資金	住宅を増築、改築、補修するのに必要な経費等
修学資金	高等学校、大学、高等専門学校の就学に必要な経費(低所得世帯)
療養・介護資金	負傷や疾病の療養、介護サービスに必要な経費(低所得世帯/高齢者世帯)
緊急小口資金	緊急的・一時的に生計の維持が困難となった場合に必要となる少額の経費(低所得世帯) [例] 医療費又は介護費の支払い等
災害援護資金	災害を受けた際の困窮から自立更生するのに必要な経費(低所得世帯)
離職者支援資金	失業者世帯に対し、生計中心者が再就職するまでの生活資金
長期生活支援資金	一定の居住用不動産を担保とする生活資金の貸付 (低所得高齢者世帯)

助け合い資金について

- ◆趣旨 これは、山形村社会福祉協議会が、山形村からの補助金や社会福祉協議会々員会費・一般寄付金等を原資にして、山形村住民の生活援助等のために行う貸付金制度です。
- ◆実施主体 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会
- ◆対象となる世帯等
 - ・他から融資を受けることが困難な収入の少ない世帯（低所得世帯）
 - ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方
 - ・日常生活を営むうえで介助が必要な高齢者の世帯（高齢者世帯）
- ◆資金の内容
 - ・生活資金 10万円
 - ・医療関係資金 協議会長が適当と認めた額

※以上の貸付金制度についての詳細は、山形村社会福祉協議会事務局の方へお問い合わせください。

ぽぼねっと企画／むかごちゃんプロジェクトからの活動案内

ぽぼねっと企画では、「むかごちゃんプロジェクト」が行う地域貢献活動に参加するボランティアを募集しています。同プロジェクトの活動は、農家の協力をいただいて、長芋の葉の付け根にできる芽（むかご）を採取し、販売、売上金を地域の福祉活動の支援に生かすというものです。

本年も、山形村ボランティアセンター（保健福祉センターいちいの里内）を活動拠点にして行いますので、多くの皆さんの参加をいただきますようご案内いたします。

■参加受付の期間

10月1日から11月1日までの間（予定）

■受付窓口（問い合わせ先）

山形村社会福祉協議会事務局

ぽぼねっと企画担当 ☎0263-97-2102

（保健福祉センターいちいの里内）

※尚、土日祝祭日については、社会福祉協議会の受付業務を行っていませんので、お問い合わせ等の受付は、土日祝祭日を除いた上記の期間の日の8:30～17:30の間とさせていただきます。宜しくご協力をお願いします。



▲松本大学のゼミでも、むかご採取に参加(昨年10月撮影)

平成16年度

赤い羽根・歳末助け合い共同募金運動にご協力下さい

——— 皆さんからの共同募金が地域福祉を支えます ———

少子高齢社会の今日、地域で安心して生活していくためには、さまざまな福祉サービスが必要です。そのため地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会や民間の社会福祉団体や施設、またボランティア団体等によって、多彩な福祉活動が展開されています。

皆さんからの共同募金は、こうした活動の支援のため役立てられます。

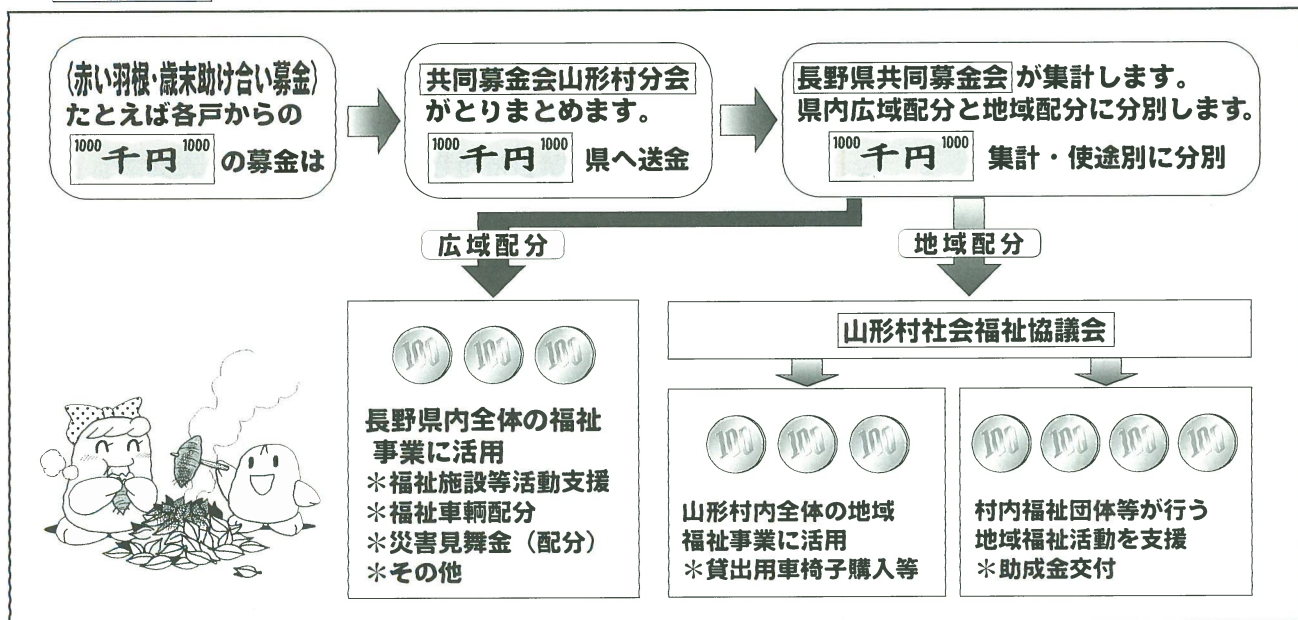
平成16年度共同募金運動の実施期間（山形村分会の場合）

平成16年10月1日から10月31日まで

＊山形村分会の平成16年度目標額は、1,950,000円です。

＊各連絡班ごとに集金いただく **戸別募金** をはじめ、**学校募金**、**職域募金**、**村内店舗募金箱等** により、皆さんの温かいご協力をお願いします。

＊**戸別募金** の例 戸別の募金として、1戸から1,000円の協力をいただいた場合の募金の流れ(イメージ)



長野県共同募金会 山形村分会（事務局 山形村社会福祉協議会内 ☎97-2102）

まほろば

（社協広報／第28号） 平成16年9月22日発行

●発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会（山形村保健福祉センターいちいの里内）

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村 4520 番地の1 TEL 0263 (97) 2102 FAX 0263 (97) 2101

●印刷所 アサカワ印刷株式会社